

# 森の楽しみ方



## 奄美の森の特徴

奄美の森には、この地域にしかない動植物がたくさん生息・生育しており、世界自然遺産に推薦される要素となっています。

奄美の森は、大きく分けて2種類あります。そのひとつが、山がちな島である「高島」と呼ばれる奄美大島と徳之島の山稜部に連なる森。もうひとつが、隆起サンゴ礁由来の平坦な島である「低島」と呼ばれる喜界島のひゃくのだい、沖永良部島のおおやま、与論島の与論城跡周辺にある森です。

## 高島の森



高島の森は、森が深くヒカゲヘゴなどの大きなシダ植物が生育しており、亜熱帯の森の雰囲気を楽しむことができます。奄美大島の湯湾岳や油井岳には展望台があるので、うっそうと茂る森をパノラマで望めます。

奄美の生きものは簡単に見られないものが多いのですが、自然体験型の「エコツアー」に参加するとガイドの案内でたくさんの動植物と出会え、奄美の森をより楽しむことができます。



トクノシマトゲネズミ



湯湾岳（奄美大島）

## 低島の森



低島の森へは、アクセス道路が整備されているのでレンタカーなどで気軽に行くことができます。喜界島の百之台、沖永良部島の大山の遊歩道、与論島の与論城跡周辺の丘に登れば、島の景観を楽しむことができます。



喜界島



与論島

# 奄美の自然を守るために

奄美群島は、その素晴らしい自然と文化が評価され、平成29年に奄美群島国立公園として指定されました。国立公園では次のことを守って、奄美の自然を楽しんでください。

(国立公園の区域は P2 参照)

## 国立公園の利用上のマナー

- ❗ ゴミを捨てないでください
- ❗ 花や植物を採らないでください
- ❗ 野生動物に餌を与えないでください
- ❗ 昆虫や動物を獲らないでください
- ❗ 歩行中禁煙、タバコのポイ捨て厳禁です
- ❗ 外来生物を持ち込まないようにしましょう  
(靴の泥をしっかりと落としてから島を訪れましょう)
- ❗ 動物の写真を撮るときは必要以上に近づかないように、希少種はみだりに位置情報などを公開ないようにしましょう。



ウケクリ

## 生きものは「見る」だけ

奄美群島のめずらしい生きものや植物の多くは、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」や「自然公園法」、「鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例」などによって守られています。これらの法律や条例で指定された動植物を捕獲採取した場合、罰則が科せられます。

**もし、めずらしい生きものをつかまえたり、植物を採取している人を見かけたら、すぐに次の機関にご連絡ください。**

環境省奄美野生生物保護センター Tel:0997-55-8620  
名瀬保健所 Tel:0997-52-5411 または各市町村役場 (P38 参照)

## 保護のために、とくに注意が必要な地域

### ■奄美大島・<sup>きんさくぼる</sup>金作原

奄美大島の金作原は、自然環境への負荷軽減や混雑緩和、安全確保のため、利用ルールを導入しています。金作原では、「奄美群島認定エコツアーガイド」同伴でのご利用をお願いします。また、ツアー数に制限を設けているので、ご注意ください。

#### 認定ガイドの問合せ先：

[http://www.amami.or.jp/guide/category/guide/eco\\_amamioshima/](http://www.amami.or.jp/guide/category/guide/eco_amamioshima/)



### ■<sup>おおやま</sup>請島・大山

請島の大山一帯は、自然環境保全のため、瀬戸内町条例等により入山申請が必要です。また入山には、指定地域保護管理人の同行が義務付けられています。

#### 入山申請先：

瀬戸内町教育委員会  
社会教育課郷土館・文化財係 Tel:0997-72-3799

申請書は以下の URL (瀬戸内町 HP) から入手できます。  
<http://www.town.setouchi.lg.jp/joho/cho/kurashi/koseki/shinshesho/documents/nyuzanshinseisyoy.pdf>



### ■<sup>やま</sup>徳之島・林道山クビリ線

徳之島の林道山クビリ線は、自然環境保全のため、徳之島町条例により通行規制を行っています。野生生物の夜間観察を行いたい方は、「奄美群島認定エコツアーガイド」が実施するナイトツアーを予約・参加ください。研究等の目的で通行したい方は、事前の申請手続きが必要です。

#### 認定ガイドの問合せ先：

[http://www.amami.or.jp/guide/category/guide/eco\\_tokunoshima/](http://www.amami.or.jp/guide/category/guide/eco_tokunoshima/)



#### 研究等の目的での通行申請先：

徳之島町農林水産課 Tel:0997-82-1111

## トレッキング・ハイキングでの**注意点**

### 未舗装の道にむやみに入らない

奄美大島や徳之島には、道幅が狭く、脱輪の危険がある未舗装の道も少なくありません。草木が道路に突き出したところが多いので、車を傷つける可能性もあります。そのためレンタカー会社のほとんどは、未舗装の道への乗り入れを禁止しています。



### 携帯電話が通じない

山の中では、携帯電話が通じない場所もあります。万一トラブルになった場合、助けを呼ぶことも難しい場所もあるので十分注意してください。



### トイレは済ませて

山は、トイレや駐車場がない場所がほとんどです。長時間の山歩きには携帯トイレを持参しましょう。



### ガイドと一緒に安全に楽しもう

ご自身の安全と自然環境保全のために、エコツアーガイドと一緒に自然を体験することをお勧めします。地域によっては認定ガイド等の案内がないと入れない場所もあります(P19 参照)。



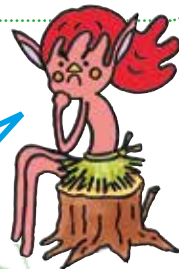
### 奄美群島認定エコツアーガイド(認定ガイド)とは

奄美群島の自然や文化、ガイド技術、安全管理、環境保全などに関する認定講習を修了しており、基本的な心構えや知識等を備えたエコツアーガイドです。利用者に安全安心で質の高い体験を提供します。

認定ガイド一覧: 奄美群島広域事務組合 HP  
<http://www.amami.or.jp/guide/ecotourguide/>



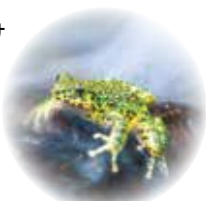
奄美の森を安全に楽しむために、  
ガイドさんと一緒に歩いてね。  
携帯電話もつながらない山の中で  
道に迷ったら、出て来られなくなるよ。



# 夜間のドライブでの注意点

## 動物の飛び出しに注意

奄美大島と徳之島では、アマミノクロウサギ等がはねられる事故が後を絶ちません。夜間はゆっくり走行し、とくに林道など森の近くの道では安全運転を心がけてください。



アマミシカワガエル

## 夜間のドライブは控えましょう

真っ暗な夜道では、アマミノクロウサギのほかにも、ケナガネズミ、アマミヤマシギ、イボイモリ、アマミシカワガエルなどの貴重な動物をひいてしまうこともあるので、夜間のドライブは控えましょう。

### アマミノクロウサギとは？

奄美大島と徳之島だけに生息する固有種で、一般的なウサギと比べて耳、足、尾が短く、原始的な姿をした世界的にもめずらしい動物です。生きた化石ともよばれています。



### けがをしたり、死んでいるアマミノクロウサギを発見したら

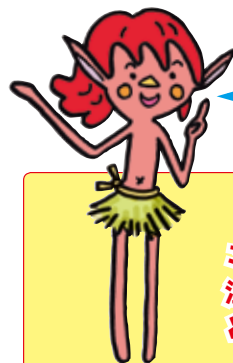
すぐに環境省奄美野生生物保護センターにご連絡ください。

【環境省奄美野生生物保護センター：0997-55-8620】

# こんな場所ではとくに注意

野生動物の交通事故は、とくに次のような場所よく起こっています。

- スピードを出しやすい直線道路
- 見通しのよくない急カーブ
- 生きものの逃げ場がない切り通しの道路



事故が多いところには、路面表示や警戒標識などが設置されているので、とくに注意してね！

こんな路面標示や  
注意標識を見たら、  
とくに運転注意



ケナガネズミ標識（徳之島）



アマミノクロウサギ標識  
（奄美大島）



アマミヤマシギ標識（徳之島）



路面に示された  
「クロウサギに注意」（奄美大島）

# マングローブ林・海の楽しみ方



住用町のマングローブ林 (奄美大島)

## カヌーで行くマングローブ林



マングローブ林は、展望所から眺めることもできますが、カヌーに乗って林内を観察するツアーもあります。潮のにおいに包まれ、海面に近い目線から見るマングローブ林内の景色も格別です。カニ類やトビハゼなどを間近で見ることができます。

## 海岸で、海中で、海を満喫



潮が引いた海岸には、ところどころに潮だまりができます。そこでは貝類、カニ類、魚など様々な種類の生きものを見ることができます。また、スノーケリング、ダイビングによって、海中を散歩するのも貴重な体験です。



冬場はホエールウォッチングが人気

他にも、サーフィンやSUP (サップ)、ホエールウォッチングなど様々なアクティビティで奄美の海を楽しめます。潮の流れが速いなど危険な場所もあるので、ツアーなどを利用して安全に楽しんでください。

## 川から海へひろがる素晴らしい眺め



奄美大島の住用川・役勝川河口に広がるマングローブ林は、日本では沖縄県の西表島に次ぐ大きな面積を誇っています。

また、奄美群島の周辺はサンゴが多く生息しており、眺望の良い場所から眺めた海は、エメラルド色に輝いています。

# マングローブ林観察・カヌーなどの 利用・ウミガメ観察での**注意点**

## マングローブ林での注意点

基本的にマングローブ林の中には立ち入れませんが、カヌーでは間近に生きものを観察することができます。ただし、むやみに上陸してマングローブの根を踏みつけたり、大声を出して生きものを驚かさないようにしましょう。

奄美市住用町のマングローブ林は、国立公園の特別保護地区に指定されており、動力船の使用や動植物の捕獲や採取は一切禁止されています。カヌーや遊覧船に乗る際は、日差しが強いので帽子や飲み物を忘れないようにしましょう。

## カヌー、シーカヤック、SUP利用の注意点

ガイドの案内に従って安全に楽しんでください。奄美群島には、島の宝である貴重な動植物が生息・分布しているので、むやみに上陸することは避けてください。必ずライフジャケットを着用し、水温・気温に適した服装や装備を身につけましょう。増水時や強風時、高波などの悪条件下でのカヌーやシーカヤック、SUPの利用は危険です。



## ウミガメ観察での 注意点

5月から8月にかけて、アカウミガメ、アオウミガメが産卵のために上陸します。



砂浜で産卵するウミガメ

砂浜に自動車を乗り入ると、卵や子ガメを踏みつぶす可能性がありますし、孵化した子ガメが自動車のタイヤの轍に落ち込んではい上がれなくなってしまう事もありますので注意してください。また、産卵時期には赤色ライト、またはライトに赤色セロハンをつけて観察する、大声をたてないなどの配慮も必要です。

リーフで遊ぶときは、潮が満ちて岸に帰れなくなることがあるので、注意が必要だよ。貝などの採取は法律で禁止されていることがあるから注意してね！



## 海水浴・ダイビング・ スノーケリングでの**注意点**



### 海をよく見よう

海の状況は短時間で変わることがあります。風が強くなり、波が高くなってきたら、すぐに海から上がりましょう。

### 潮の流れが速い

遊泳禁止の看板がなくても、奄美群島のまわりは潮の流れが速いので注意が必要です。遊泳区域が決められている場合、区域外は速い流れがあったりします。また、漁場ということもありますので、魚貝類は、採取しないようにしましょう。

#### り がんりゅう 離岸流に注意!

岸から沖に向かって強い流れ（離岸流）が生じることがあります。これに乗るとどんどん岸から離れていきます。まっすぐ岸に戻ろうとしてもなかなか進みません。落ち着いて、岸と平行に移動し、流れを感じなくなったら、ゆっくり岸まで戻りましょう。

### ひとりで行動しないで

海に入る時は、2人以上で行動しましょう。ひとりだけでは、思わぬトラブルが起こった場合に対処が難しくなります。

### お酒を飲んだら

「お酒を飲んだら海に入らない、海に入るならお酒を飲まない」を徹底しましょう。

### サンゴは宝

サンゴは動物ですが、少し触っただけで折れることがあります。むやみに触ったり、足ひれで折ったり、傷つけないように気をつけましょう。



ダイビングはもちろん、  
スノーケリングも事前の練習が必要だよ。  
必ず浮くものを身につけてね。  
緊急事態には 118 番（海上保安庁）！



# 《服装・持ち物ガイド》

## 海での服装



## 山での服装



## 海・山に行くときの持ちもの

### 救急セット

- ・アルコール消毒液
- ・脱脂綿・ガーゼ
- ・化膿止めの塗り薬
- ・救急用テープ・絆創膏
- ・毛抜きなど



### ポイズンリムーバー (毒の吸引器)



### 帽子



### 虫よけ





# 集落を散策するときの注意点

## 自然と関わりの深い暮らし



奄美群島では古くから、集落を中心に前面の海と背後の山を一つの生活空間として農業や漁業を営んできました。また、自然は豊かな恵みだけ

でなく、台風などの被害ももたらすため、奄美の人々は海や山に神々の存在を感じ、自然を畏れ敬い接してきました。

そうした自然と関わりの深い暮らしのなかから、例えば、サンゴの石垣やガジュマル、フクギなどの防風林に囲まれた家々や神様の通る道、暗川などと呼ばれる採水地が寄り集まった、伝統的な集落景観も生まれました。また、旧暦の3月に行われるサンガツサンチ／サンガチサンニチや8月に行われる八月踊り、豊年祭など、自然からの豊かな恵みを祈ってきた伝統行事や島唄などが、今日まで息づいています。

サンガチサンニチ(浜下り) (与論島)



## 地元の人たちの生活を尊重してください

集落は奄美の人たちが普段の生活をしている場所です。集落散策などで訪れる場合、そこで暮らしている人たちの生活や伝統を理解し、尊重しましょう。「お邪魔している」という気持ちとともに、常に敬意を払いましょう。

## 集落周辺では車の速度を落として

道路のすぐそばに、住民が暮らす集落があります。集落周辺では車の速度を落として、車間距離を十分に空けて運転しましょう。

## 駐車場所に注意しよう

私有地や集落で管理している土地もありますので、駐車する前に住民に確認してください。細い道も多いため路上駐車は危険です。

## 生活の場を覗かない

住民の方のプライバシーに配慮しましょう。住宅敷地内はもちろん、農地などへの立ち入りはしてはいけません。



八月踊り(奄美大島)

集落では、僕を見たというおじいさんやおばあさんの話が聞けるかもしれないよ



油井の豊年踊り(奄美大島)



# 危険な生きもの ～森編～

## 猛毒を持つヘビ(ハブ)に注意!

奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、徳之島に、猛毒をもつハブが生息しています。日中は草木等の陰にすることが多く、夜間に活発に活動します。夏季には涼しい川辺でもしばしば見られます。ハブは冬眠しないため、冬季であっても注意が必要です。



ハブ

## 咬まれないために

ハブに咬まれないよう、道路の中央を歩き、不用意に草むらに入らないようにしましょう。夜は必ず懐中電灯を持って歩くこと。もしハブを見つけたら、1.5m以上離れましょう。ハブは全長が約2mを超えるものもあり、体長の約半分にあたる1m近くが攻撃範囲といわれています。

## 万が一咬まれたら

落ち着いて、次のことをしましょう。

- 身近にいる人に助けを求め、安静を保つ
- 毒を吸い出す
- 毒が体内に広がるのを遅らせるため、傷口より心臓に近いところをタオルなどで縛る
- 119番へ連絡して病院に行き、医師の処置を受ける

ハブは墓地、サンゴ礁の石垣、木の穴、家の床下、草むら、木の枝など餌となるネズミなどの小動物が生息する場所にいることが多いよ。

墓地



木の穴



家の床下



## ハチやブユ(ブヨ・ブト)、ケムシにも注意!

刺されないように長そでや長ズボン、帽子などを着用し、ハチやブユをひき寄せやすい黒い服を避けましょう。ブユ専用の防虫剤もあります。

ハチに刺されると、息をするのが苦しい、物を飲み込めない、声がしわがれて全身の力が抜ける、意識が遠のくなどの症状が出る場合があります。その場合には一刻も早く病院に行きましょう。

ブユは刺されると猛烈に痒いだけでなく、激しい痛みや腫れが残り、歩行困難になることがあるので、症状が重い場合は、病院に行きましょう。

他にもハゼノキは、触れるとかぶれることがあるので要注意です。



ハゼノキ

# 危険な生きもの ～海編～

奄美群島で見られる主な海の危険な生きものを紹介します。危険な生きものは他にもいますので、知らない生きものには、不用意に触らないように気をつけましょう。



## オニダルマオコゼ

体長は 40cm 程度で浅い海にすみ、色や形が岩に似ているため砂泥中にじっとしていると見つけづらい魚です。背びれにはビーチサンダルを貫通するほど鋭く長いトゲがあり、強力な毒もあります。触ったり、踏みつけないように注意が必要です。



## オニヒトデ

全身がトゲに覆われている大型のヒトデで、大きさは 60cm 位になります。体表にある鋭いトゲに毒があり、軽く触れただけでも刺されてしまいます。刺されると激痛を伴い大きく腫れ上がります。アナフィラキシーショックにより重症化することもあります。



## ハブクラゲ

海水浴場、とくに波が静かな砂浜や入り江、人工ビーチなどに多数出現しています。ハブクラゲの触手は刺激を受けると毒針が飛び出すしくみになっており、刺されると激痛を生じ、みみず腫れのような跡になります。重症の場合には、5 分程で心臓停止になることも。

写真提供：沖縄県衛生環境研究所



写真提供：沖縄県衛生環境研究所

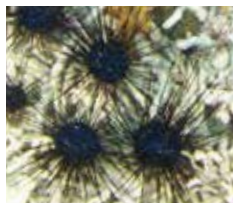
## カツオノエボシ

ブルーの風船の下に多くのヒモがぶら下がったような形状、全体は青色をしています。このヒモが体に触れると、体中に電気が走ったと思うほどの激痛を感じ、触れた個所が赤くみみず腫れになります。アナフィラキシーショックにより重症化することもあります。



## アンボイナ (はぶがい)

殻長 10cm。貝の中で死亡率の一番高い猛毒を持つ巻貝です。奄美大島での死亡例もあり、リーフ内や砂浜でも見かけます。貝殻と同じ長さほどに口(吻)を伸ばし、歯舌歯という毒矢を発射します。その毒矢は、軍手やウェットスーツも貫通するほど強力です。



## ガンガゼ

浅いサンゴ礁や岩場に生息しているウニの一種で、20～30cmの鋭く長いトゲを持っています。このトゲはもろくて折れやすいため、不用意に触ると簡単に皮膚に刺さり、体内に残って激痛が続きます。サンゴや岩の下などに隠れていることもあります。

## 万が一のときは、医療機関へ！

症状が重い場合には、病院で治療を受けてください。呼吸困難などが起きた場合には、ためらわずに救急電話「119番」、あるいは海の緊急電話「118番」へ！

## わからないとき、困ったときの

### 役場

奄美市役所	0997-52-1111
笠利総合支所	0997-63-1111
住用総合支所	0997-69-2111
大和村役場	0997-57-2111
宇検村役場	0997-67-2211
瀬戸内町役場	0997-72-1111
龍郷町役場	0997-62-3111
喜界町役場	0997-65-1111
徳之島町役場	0997-82-1111
天城町役場	0997-85-3111
伊仙町役場	0997-86-3111
和泊町役場	0997-92-1111
知名町役場	0997-93-3111
与論町役場	0997-97-3111

### 国・県

環境省奄美野生生物保護センター	0997-55-8620
環境省徳之島管理官事務所	0997-85-2919
鹿児島森林管理署名瀬森林事務所 (国有林に関すること)	0997-52-4531
鹿児島森林管理署徳之島森林事務所 (国有林に関すること)	0997-82-0027
鹿児島県環境林務部自然保護課	099-286-2613
大島支庁総務企画課 (国立公園の許認可関係)	0997-57-7215
大島支庁衛生・環境室 (名瀬保健所)	0997-52-5411

海上保安庁 (海の事故・事件)	118 番
警察 (事件・事故)	110 番
消防 (救急搬送)	119 番

## 連絡先

### 救急病院 (24 時間対応)

奄美大島	
鹿児島県立大島病院 (奄美市)	0997-52-3611
奄美中央病院 (奄美市)	0997-52-6565
名瀬徳洲会病院 (奄美市)	0997-54-2222
瀬戸内徳洲会病院 (瀬戸内町)	0997-73-1111
喜界島	
喜界徳洲会病院 (喜界町)	0997-65-1100
徳之島	
徳之島徳洲会病院 (徳之島町)	0997-83-1100
宮上病院 (徳之島町)	0997-82-0002
沖永良部島	
沖永良部徳洲会病院 (知名町)	0997-93-3000
与論島	
与論徳洲会病院 (与論町)	0997-97-2511

### 観光協会 (地元ガイドの紹介など)

奄美群島全域	
奄美群島観光物産協会	0997-58-4888
奄美大島	
あまみ大島観光物産連盟	0997-53-3240
宇検村観光物産協会	0997-67-2071
奄美せとうち観光協会	0997-72-1199
喜界島	
喜界町観光物産協会	0997-65-1202
徳之島	
徳之島観光連盟	0997-81-2010
沖永良部島	
おきのえらぶ島観光協会	0997-84-3540
与論島	
ヨロン島観光協会	0997-97-5151